

# 木の鉛筆立て

## プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使って鉛筆立てを作る。作った後は、自宅の学習机等で使用可能。ノコギリや電動工具の使い方を覚え、自分のだけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。

※ノコギリを使って間伐材(丸太)を切る作業あり

場所	クラフト室		
時間	1時間30分~2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数 48
準備物	<p>【利用者】 ぞうきん、新聞紙、活動に適した服装 救急用品、装飾用材料（ポスカやリボン、ビーズ等必要に応じて）</p> <p>【自然の家】 材料（間伐材）、万力、マジカルサンダー、ノコギリ、ベルトサンダー、ボール盤</p>		

## ①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。  
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。  
電動工具を使用する場合は、事前に指導者がスタッフから使用法について説明を受ける。

## ②実施の流れ

### 【時間】

- 0:00 説明
- 0:10 材料の間伐材（直径5cm程度）を万力で固定し、ノコギリで厚さ6cm程度に輪切りにする。（写真①）
- 0:30 切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。  
マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。  
荒削り用（濃茶色）→仕上げ用（薄茶色）
- 0:50 子どもの作業状況により、早く削るためにベルトサンダーを使用する。  
（写真②）ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。  
※削る際は、機械の横に立って作業をする。  
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。  
※1台につき二人同時に作業は行わない。
- 1:00 表面が滑らかになったら、ボール盤で鉛筆をたてる穴（サイズφ15mm）を深さ約5cm開ける。（写真③）ボール盤を使用する際は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。  
※ボール盤の万力を使い、木を固定してもよい。  
※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。  
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
- 1:10 完成  
ハイキング等で採集した木の実や枝、持参した材料で装飾を行ってもよい。（写真④）  
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
- 1:30 片付け・終了



## ③後片付け

工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。  
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。  
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）  
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。  
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。